



学校だより

平成30年度 1月号

能美市立辰口中央小学校

3学期は1年のしめくくり、次の学年に向けての準備の学期

新しい年を迎え、今日から3学期が始まりました。

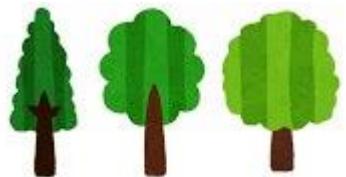
旧年中は保護者の皆様、地域の皆様に大変お世話になりありがとうございました。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

3学期は1年間のしめくくりの学期であると同時に、次の学年に向けての準備の時期でもあります。

さて、1学期より、本校のめざす児童の姿

「まわりと心を通わせる子」「しんけんに学ぶ子」「じぶんから動き出す子」をめざして、どの学年も大きく成長してきました。3学期は、これまで心の根っこを伸ばしてきた地面から、芽を出していく時期です。また、6年生を送る会や卒業式などの大きな行事があります。思い出に残るものにするために、3学期は、3つの木（気）を意識して学校生活を過ごしましょう。



「まわりと心を通わせる子」になるために**「元気」**（元気なあいさつ、元気な声かけ）

「しんけんに学ぶ子」になるために**「根気」**（あきらめず努力を積み重ねる）

「じぶんから動き出す子」になるために**「やる気」**（自分から積極的に働く、発言する）

このように、3学期は、一人ひとりが3つの木（気）を地面から伸ばしていきましょう。

私たち教師自身も、「元気」「根気」「やる気」を常に心がけ、子どもたち一人ひとりが成長できるように日々の授業を大切に、成長を認め励ましてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様もご協力お願い致します。

1年1組に在籍の山野永遠さんと、永遠さんのお母さんの山野美鈴様が、亡くなられました。心よりおくやみ申し上げます。

本日の3学期始業式で、山野永遠さんと山野美鈴様のご冥福をお祈りして、全校で黙祷を捧げました。その後、いのちについて話しました。

2学期の終業式の時に、「いのちは自分に与えられた“時間”です。どのように時間を使ったらよいか考えて冬休みを過ごしましょう。自分の時間を、家族や友達、近所の人、困っている人のために使いましょう。」と話しました。

与えられた時間を精一杯使うことが、いのちを大切にすることです。

毎朝1年1組の教室を見に行くと、永遠さんは、私をすぐに見つけてくれて、みんなで「おはようございます」と元気いっぱいに挨拶してくれました。とても人懐っこく、やさしい子でした。永遠さんのかけがえのない小さな命が突然奪われました。お母さんも必死にわが子を守ろうとされました。きっと永遠さんも今日ここに皆さんと一緒にいたかったと思います。とても悲しいです。皆さんも、いのちは、自分に与えられた時間であると考えて、永遠さんの分も、時間を精一杯使って下さい。